

平成 23 年（2011 年）の雄阿寒岳の火山活動

札幌管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

○ 2011 年の活動概況

・ 火口や噴気の状況（図 1～4）

10 月 19 日に実施した上空からの観測（北海道開発局の協力による）では、北側斜面に弱い地熱域¹⁾が認められましたが、特段の変化はありませんでした。地熱域では噴気は認められませんでした。

1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感知して温度や温度分布を測定する測器で、熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。



図 1 雄阿寒岳 周辺図と赤外熱映像及び写真の撮影方向（矢印）

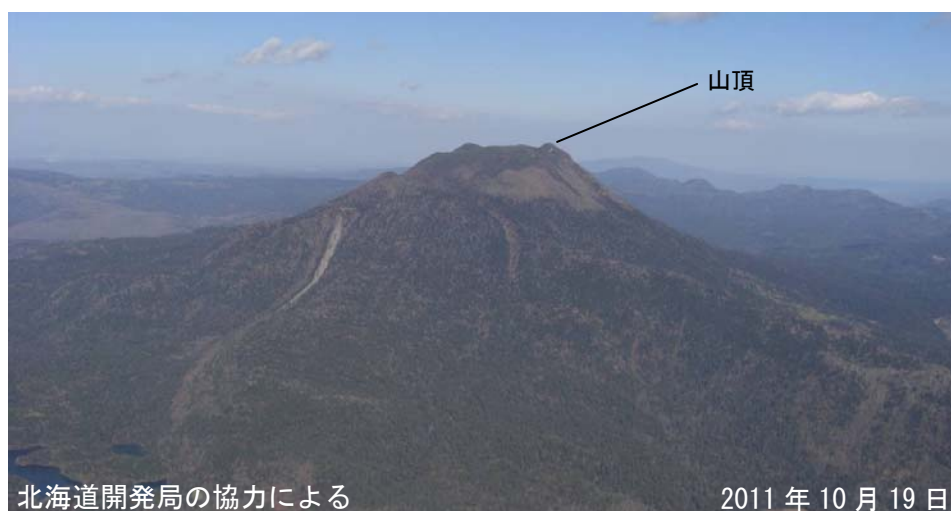


図 2 雄阿寒岳 全景（図 1-①から撮影）

この資料は札幌管区気象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>) や気象庁のホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

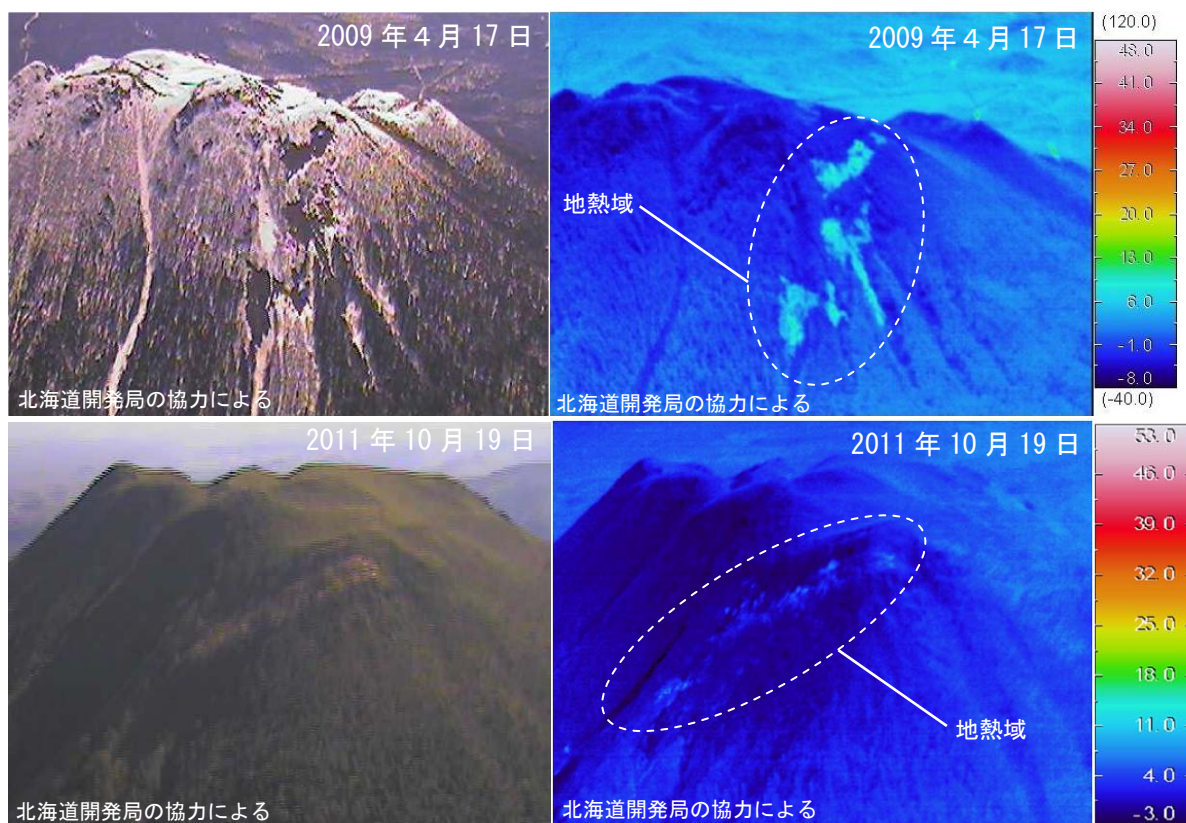


図 3 雄阿寒岳 北側斜面の地表面温度分布¹⁾ (前回 2009 年 4 月 17 日との比較)
上段：図 1-②から撮影、下段：図 1-③から撮影

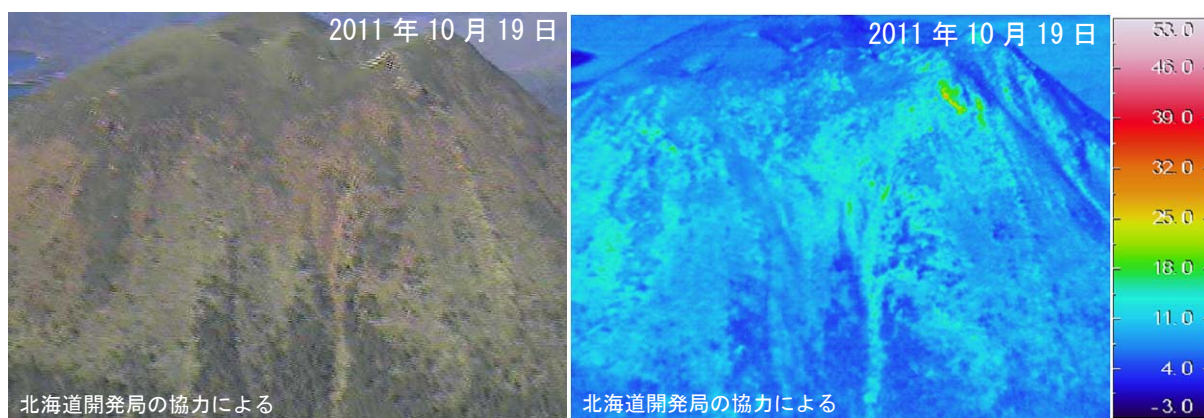


図 4 雄阿寒岳 南東側斜面の地表面温度分布¹⁾ (図 1-④から撮影)